

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 生徒の授業アンケート結果で、「グループでの話し合いや発表などで自分の言葉で自分の気持ちを伝えることができますか。」という質問に対して、「できる」という回答が69.2%、「場合によってはできる」という回答が25.0%であった。
- (2) 表やグラフから「結果」を分析することや情報を整理することを苦手とする生徒が多い。
- (3) 生徒の授業アンケート結果で、「友達と話し合う活動を増やしてほしい」「実験の回数や時間を増やしてほしい」「説明を細かく、時間をかけてほしい」といった回答が見られた。

2 改善の計画

- (1) 表やグラフから情報を読み取る活動と、実験・観察結果を自ら表やグラフにまとめる活動を増やす。
- (2) 生徒の活動時間を十分確保し、生徒間で説明し合う活動を取り入れる。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 「予想」や「考察」を、他者に説明する、授業プリントや実験レポートに記述する、コンピュータに入力する等の活動を通して、自分の言葉でまとめる機会を増やす。
- (2) 生徒の活動時間を十分確保し、生徒の主体的な活動を促す。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 定期テストで理解度をはかり、結果について教科内で検討し、次年度への参考とする。